



鹿児島県奄美市

資料 4



消費者見守りネットワーク 運営状況について

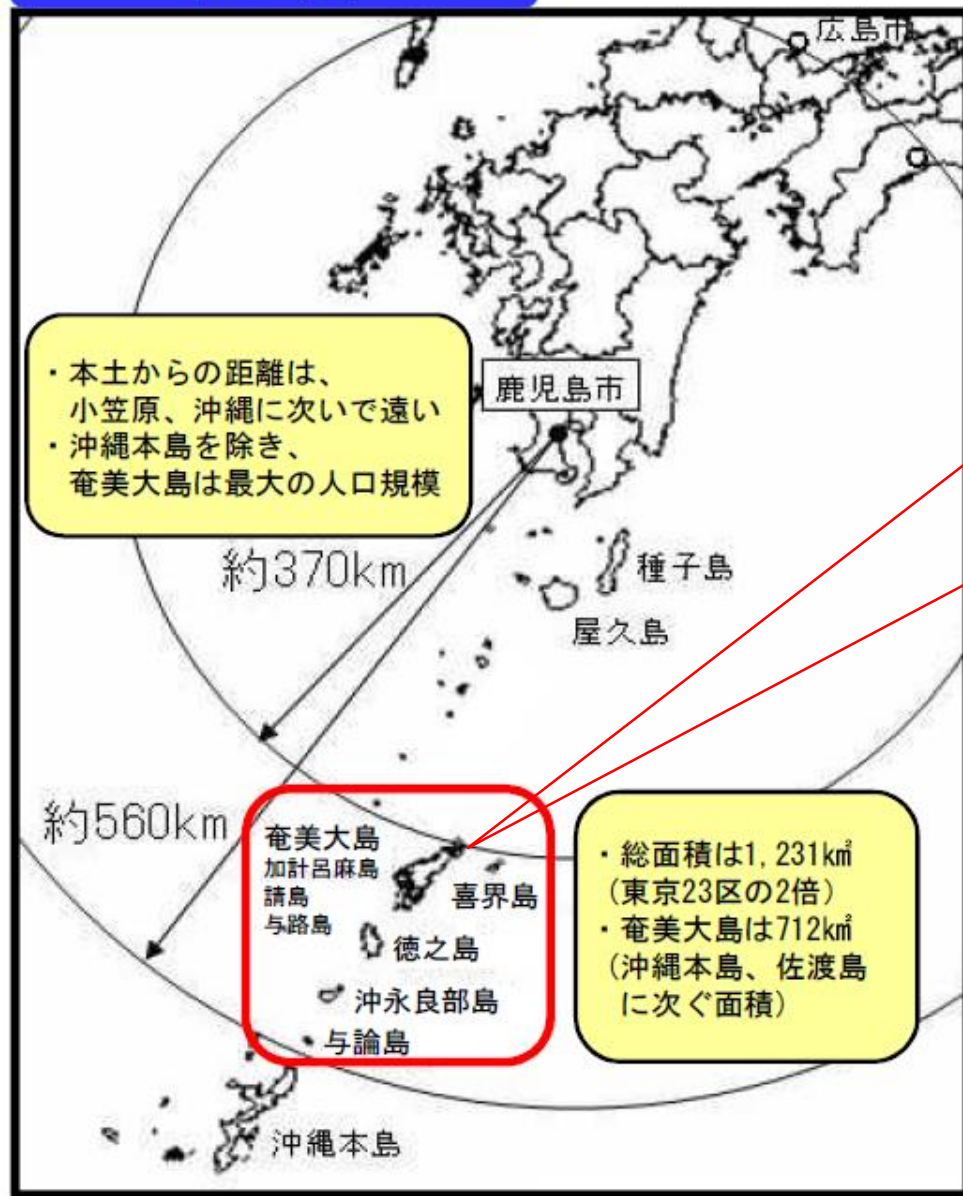




奄美市の概況



位置



市街地



北部



南部





奄美・沖縄 世界自然遺産

AMAMI・OKINAWA World Natural Heritage

令和3年7月26日：世界遺産へ登録が決定



奄美大島



絵でみる奄美市民の暮らし

奄美市の面積
308.33km²



令和4年3月現在

世帯数
19,605世帯



令和3年10月1日現在
令和3年推計人口

人口
40,939人



1世帯当たり 2.09人
令和3年10月1日現在
令和3年推計人口

出生
305人



1日当たり 0.84人
令和2年10月～令和3年9月

死亡
585人



1日当たり 1.60人
令和2年10月～令和3年9月

奄美空港旅客数
447,265人
乗客 224,240人
降客 223,025人



1日当たり 1,225人
(乗客 614人 降客 611人)
令和2年度

名瀬港乗降客数
87,691人
乗客 43,569人
降客 44,122人



1日当たり 240人
(乗客119人 降客121人)
令和2年1月～令和2年12月

児童・生徒数
小学校 2,443人
中学校 1,201人



教員1人当たり 小学生9.9人
中学生7.5人
令和3年5月1日現在

進学率

高校 99.0 %
大学等 37.9 %



令和3年3月卒業者

所得

100,582百万円

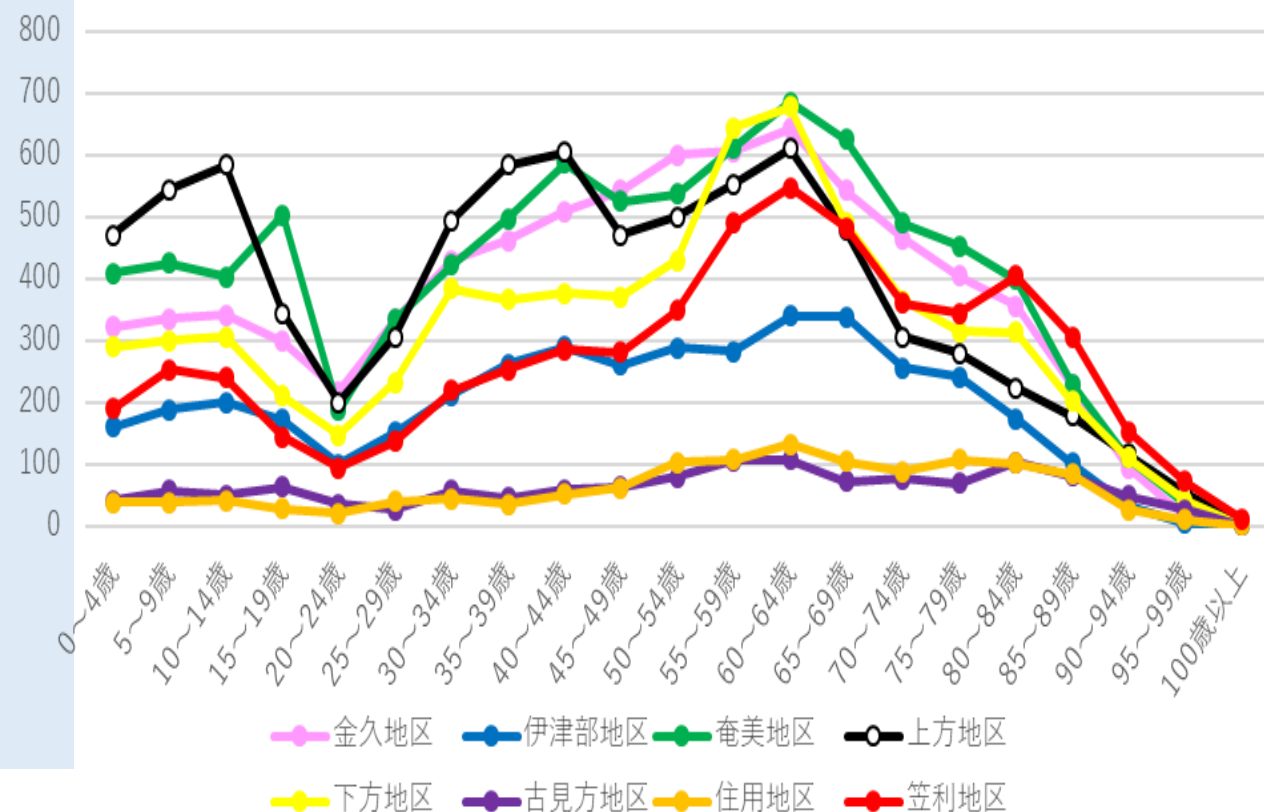


平成30年度市町村民所得推計

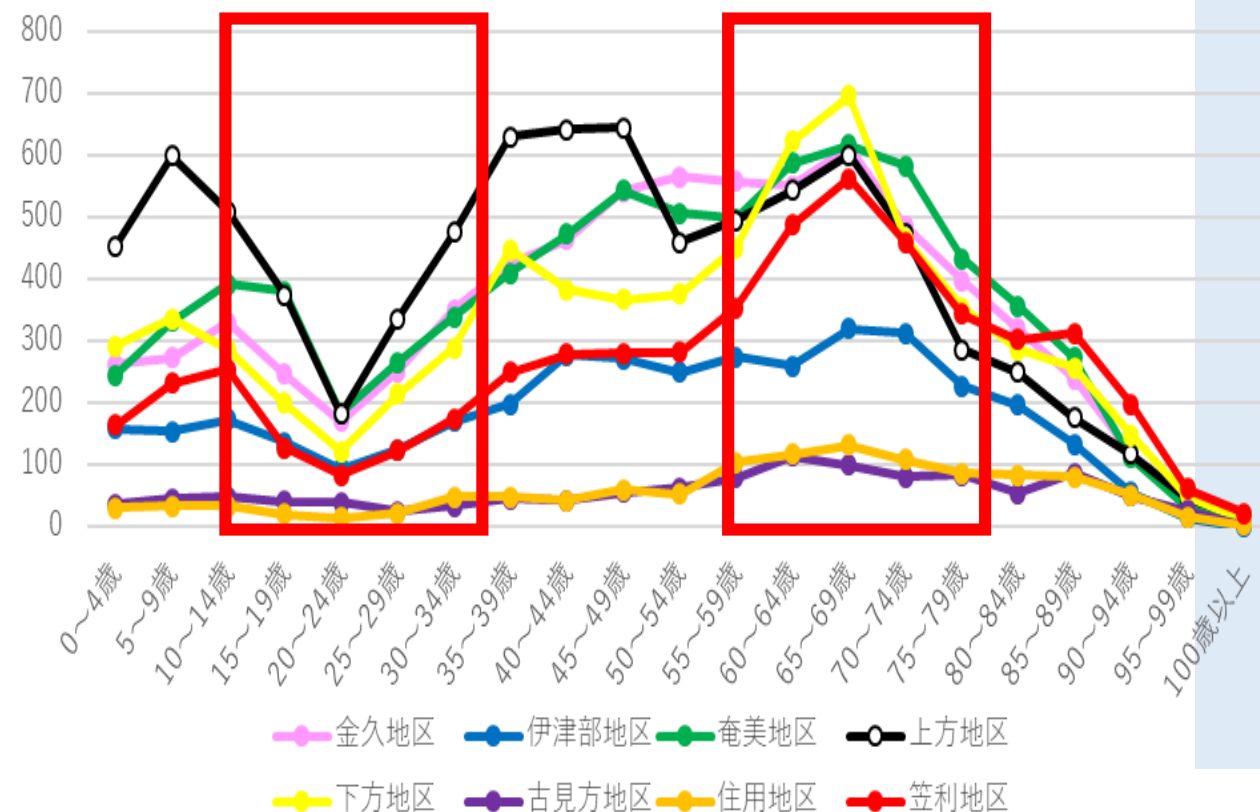


5 歳階級別人口の推移

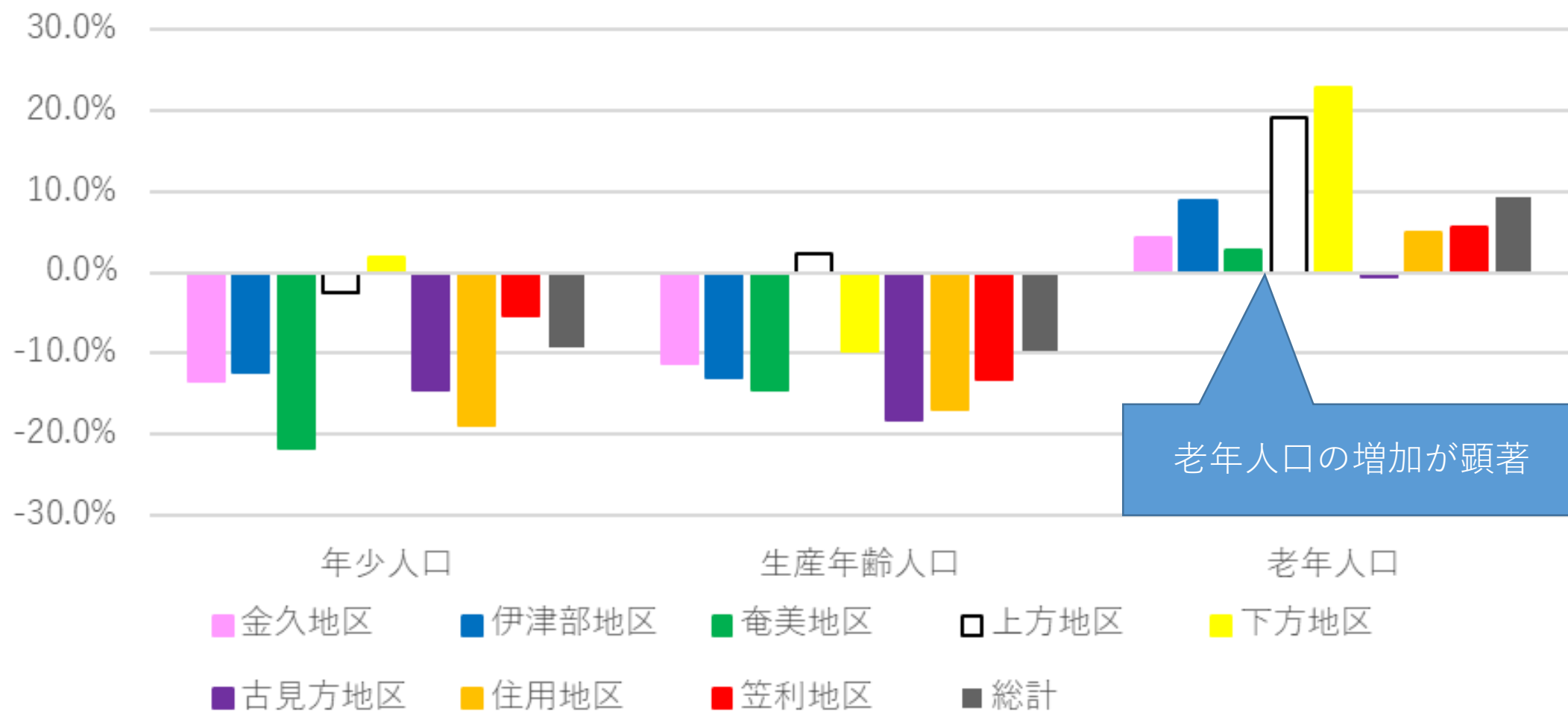
地区別5歳階級別の人口 (H27)



地区別5歳階級別の人口 (R2)



地区別年齢3区分人口の増減率（R2-H27）



家族類型別世帯数の増減数 (R2-H27)

	総 数	親 族 の み の 世 帯	核 家 族 世 帯			核外 の世帯	家族 の世帯	以非親族を 含む世帯	単 独 世 帯	(再掲) 3世代世帯	(再掲) 65歳以上 の単独世帯
				う ち 夫 婦 の み の 世 帯	う ち 夫 婦 と ら 子 供 成 世 帯						
金久地区	-67	-190	-143	21	-110	-47	-7	126	-30	58	
伊津部地区	-84	-136	-122	-23	-53	-14	4	48	0	55	
奄美地区	-172	-268	-213	1	-142	-55	-6	101	-36	116	
上方地区	287	57	37	83	-17	20	8	221	21	83	
下方地区	98	-29	-25	13	-48	-4	-1	128	-11	91	
古見方地区	-4	-43	-34	-2	-21	-9	1	38	-8	6	
住用地区	-18	-44	-40	-11	-25	-4	3	23	-5	26	
笠利地区	-34	-133	-105	-7	-57	-28	10	89	-7	100	
総計	6	-786	-645	75	-473	-141	12	774	-76	535	



消費者相談状況

契約当事者の性別・年齢別件数

R3年度

苦情・問合せ・要望

	当該年		前年同期		計		前年同期比
	男	女	男	女	当該年	前年同期	
20歳未満	2	5	1	0	7	1	700.0
20歳代	2	4	11	9	6	21	28.6
30歳代	6	7	7	8	13	15	86.7
40歳代	9	10	10	10	19	21	90.5
50歳代	13	11	7	14	24	21	114.3
60歳代	9	25	16	15	34	31	109.7
70歳以上	22	14	20	18	38	38	100.0
その他・不明	45	52	32	34	176	152	115.8
合 計	108	128	104	108	317	300	105.7

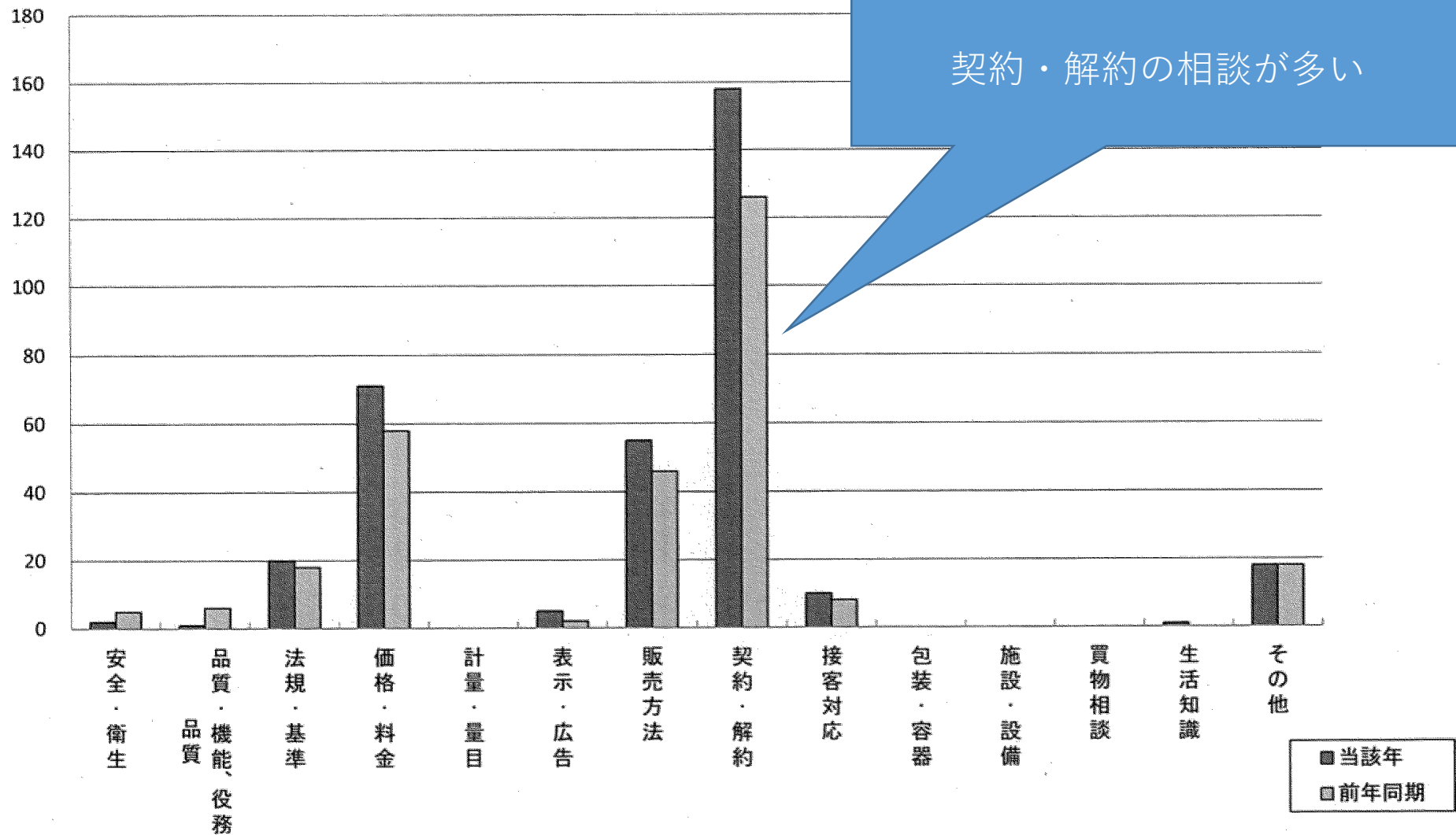
236

212

60歳以上の消費問題相談が全体の22.7%



R3年度、相談内容別件数



消費者見守りネットワークについて



官民連携の見守り協定締結 ～「福祉部局中心の見守り活動」～



奄美市は市内12の民間事業者と「高齢者見守り活動に関する協定」を締結した。初の官民連携の見守り協定で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしている地域社会の形成を目指す。奄美市役所で4日、協定事業者の1つ、奄美大島信用金庫（本店・奄美市名瀬、築地三理事長との調印式があり、見守り活動が開始した。調印式は市長が授意であり、朝山毅市長と築地三理事長が協定書に調印。奄美大島信用金庫の支店長も出席した。朝山市長は「核家族化、少子高齢化が進む奄美市で、お年寄りが安心して暮らすことができる地域社会をつくるのが行政の使命。協力してくれた事業者にお礼を言いたい」とあいさつした。

那覇市長が出馬へ

11月の沖縄県知事選

那覇市の翁長雄志市長（63）は4日、11月16日投開票の沖縄県知事選に出馬する意向を表明した。米軍普天間飛行場（名護）移設に反対する立場が共通している翁長雄志市長が、那覇市内のホールの会談に出馬を要請。翁長氏は「真剣に受け止める。方向性は一緒だが名護市移設に反対する立場は私と異なる」と述べた。

翁長氏はその後、記者団に、辺野古反対で保守、革新の枠を超えた勢力が結集しつつあると指摘。「この輪を大切に、みんなが考えるような沖縄の将来をつくりあげたい」と述べた。

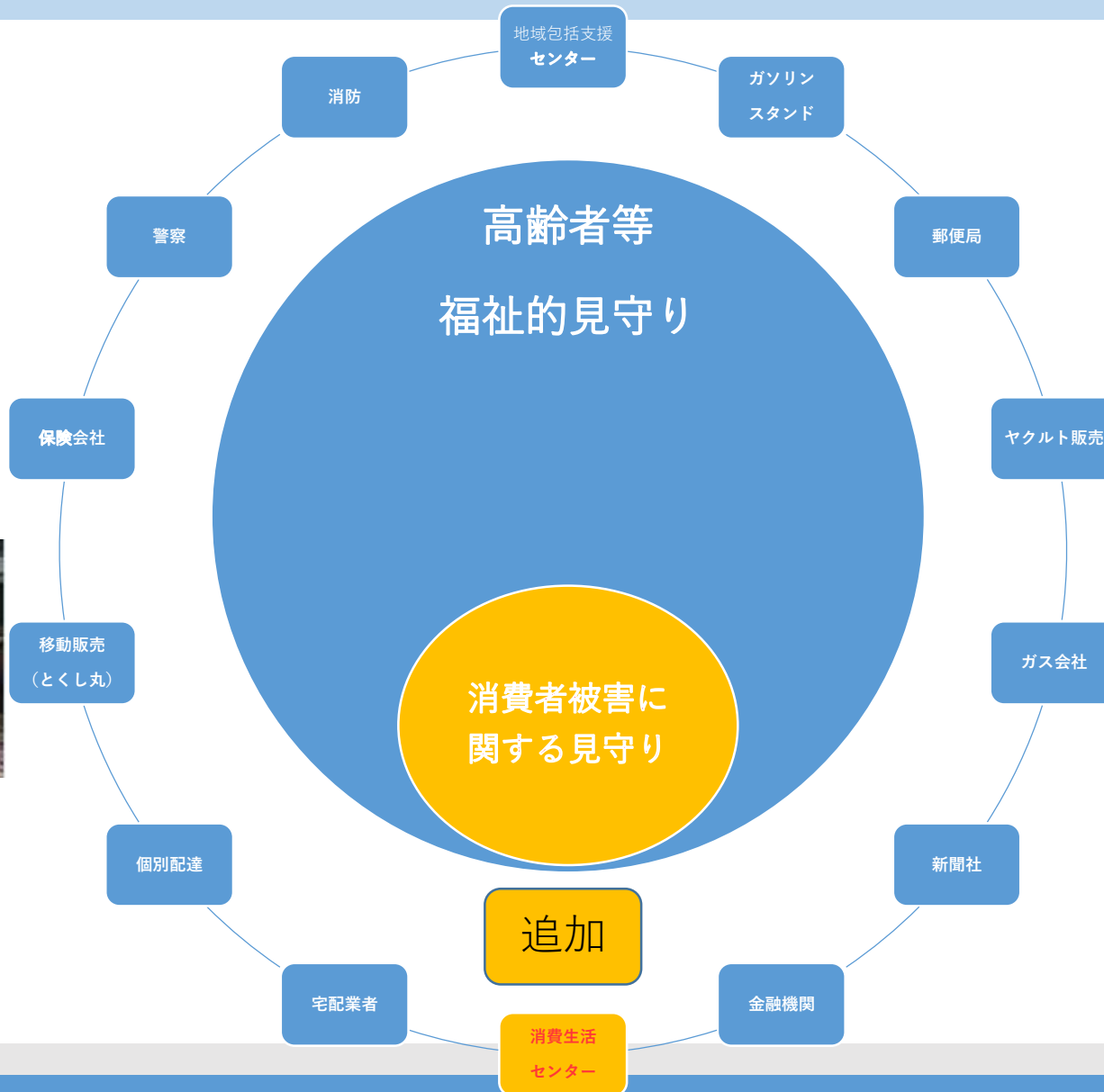
翁長氏は元議員、衆議院議員で保守系だ

南海 H26.8.5

高齢者「見守り活動」 奄美市が奄信金と調印 ほか11事業所も

協定事業所一覧		
	職 種	事業所名
1	電気会社	九州電力送配電株式会社 奄美配電事業所
2	ガソリンスタンド	大島石油株式会社
3	郵便局	名瀬郵便局
4	ヤクルト販売	鹿児島ヤクルト販売株式会社 大島営業所
5	ガス会社	株式会社奄美ガス
6		吉田商事株式会社
7		南海ガス株式会社
8		大洋産業株式会社
9	新聞社	株式会社奄美新聞社
10		南海日日新聞社名瀬地区販売店主会
11	金融機関	奄美大島信用金庫
12		奄美信用組合
13	移動販売	株式会社 グリーントア
14	個別配達	生協コープ鹿児島
15	宅配事業者	ヤマト運輸株式会社
16	保険会社	第一生命保険(株)鹿児島支社奄美大島営業オフィス

福祉部局中心の「見守りネットワーク」の構成員に 消費生活センターを追加し地域協議会に



メンバー一覧		
	職 種	事業所名
1	電気会社	九州電力送配電株式会社 奄美配電事業所
2	ガソリンスタンド	大島石油株式会社
3	郵便局	名瀬郵便局
4	ヤクルト販売	鹿児島ヤクルト販売株式会社 大島営業所
5	ガス会社	株式会社奄美ガス
6		吉田商事株式会社
7		南海ガス株式会社
8		大洋産業株式会社
9	新聞社	株式会社奄美新聞社
10		南海日日新聞社名瀬地区販売店主会
11	金融機関	奄美大島信用金庫
12		奄美信用組合
13	移動販売	株式会社 グリーンストア
14	個別配達	生協コープ鹿児島
15	宅配事業者	ヤマト運輸株式会社
16	保険会社	第一生命保険㈱鹿児島支社奄美大島営業オフィス
17	警察	奄美警察署
18	消防	大島地区消防組合
19	包括支援センター	奄美市包括支援センター(各総合支所)
20	消費生活センター	奄美市消費生活センター(市民協働推進課)

消費安全確保地域協議会運用メリット

- 【地域包括支援センター福祉的見守りのメリット】

地域協議会が、個人情報保護条例の例外組織となることから、消費者被害に係る情報を、迅速に消費生活センターと共有することが出来る。

- 【消費生活センターのメリット】

介護を受けていない高齢者等の消費者被害について、被害に遭っていることに、本人や周囲の人たちが気づきにくい現状があったが、市内事業所が見守りを行うことで、情報が入りやすくなり、被害の発見や拡大防止につながっている。

また、日常的に電話や窓口で対応する相談についても、地域包括支援センターと情報交換を密に行っている。



消費者見守りネットワークにおける高齢者等見守りフロー

構成メンバー
による
気づき・発見



それぞれの事業所を通じて
包括支援センターへ報告

名瀬地域包括支援センター
住用地域包括支援センター
笠利地域包括支援センター

消費生活センターへつなぐ



奄美市消費生活センター



被害の
回復

あっせん
成立

事業所	
九州電力送配電（株）	奄美配電事業所
大島石油（株）	
名瀬郵便局	
鹿児島ヤクルト販売（株）	大島営業所
（株）奄美ガス	
吉田商事（株）	
南海ガス（株）	
大洋産業（株）	
（株）奄美新聞社	
南海日日新聞社名瀬地区販売店主会	
奄美大島信用金庫	
奄美信用組合	
（株）グリーンストア	
生協コープ鹿児島 など	

高齢者等とのやりとりの中で、
必要に応じてあっせん交渉等を行
い、消費者被害の未然防止や
消費者被害の回復を行う

消費者トラブルの事例を
提供する等して啓発を行い
意識を高める。





まわりの方々の見守りが高齢者の
消費者トラブルを防ぎます

令和3年度に奄美市消費生活センターが受けた相談
317件のうち、65歳以上の高齢者から寄せられた相談は、
年齢が分っているだけでも72件あり、全体の2割を超えてい
ます。

高齢者の消費者被害を防ぐためには、ご家族や知人・友
人・地域といった周りの方々の「見守り」と「気づき」が大
切です。

地域での声かけなどから消費者トラブルに気づき、関係機
関と連携して対応することが必要となります。

高齢者の「見守り」「気づき」の
チェックポイント

- 自宅の修理やリフォームが頻繁に行われている。
- 自宅の修理が中途半端に終わっている。
- 見慣れない人や車が入り出している。
- 見慣れない段ボール箱や多くの新しい品物、領収書等がある。
- 指輪等の装飾品や古着など普段使わないものを出している。
- 定期的な代引きや振込みが増えた。
- 電話を取るのを敬遠する。
- 急に外出が増えた。



高齢者の消費者トラブルには
次のような特徴があります

特徴
1

だまされたことに気づきにくい

悪質業者は優しい言葉で近寄ってきて、高齢者の
話し相手になってくれます。親しくなった販売員を
慕って契約するケースもあります。まさか自分がだ
まされているとは思わない方も多いのです。

特徴
2

被害にあっても誰にも相談しない

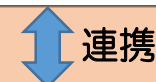
被害にあったことを恥ずかしく思い、迷惑をかけ
たくない、だまされた自分が悪いと自らを責める方
もいます。
身近な方々の気づき、声かけが重要となります。

「気づき」のときはこちらへ連絡

名瀬地域包括支援センター 電話0997-55-1165

住用地域包括支援センター 電話0997-69-2420

笠利地域包括支援センター 電話0997-63-2299



奄美市消費生活センター
(奄美市役所内)

電話0997-52-1111
内線5264
(直通0997-52-1199)



見守りネットワーク活性化方策

高齢者、障害者等を見守るネットワークの構築及び地域活性化の実証実験
～消費者庁×事業者×自治体～

■本事業モデルが達成を目指す目的の3つの柱

未然防止

消費者問題に陥る兆候
を対話より発見する。

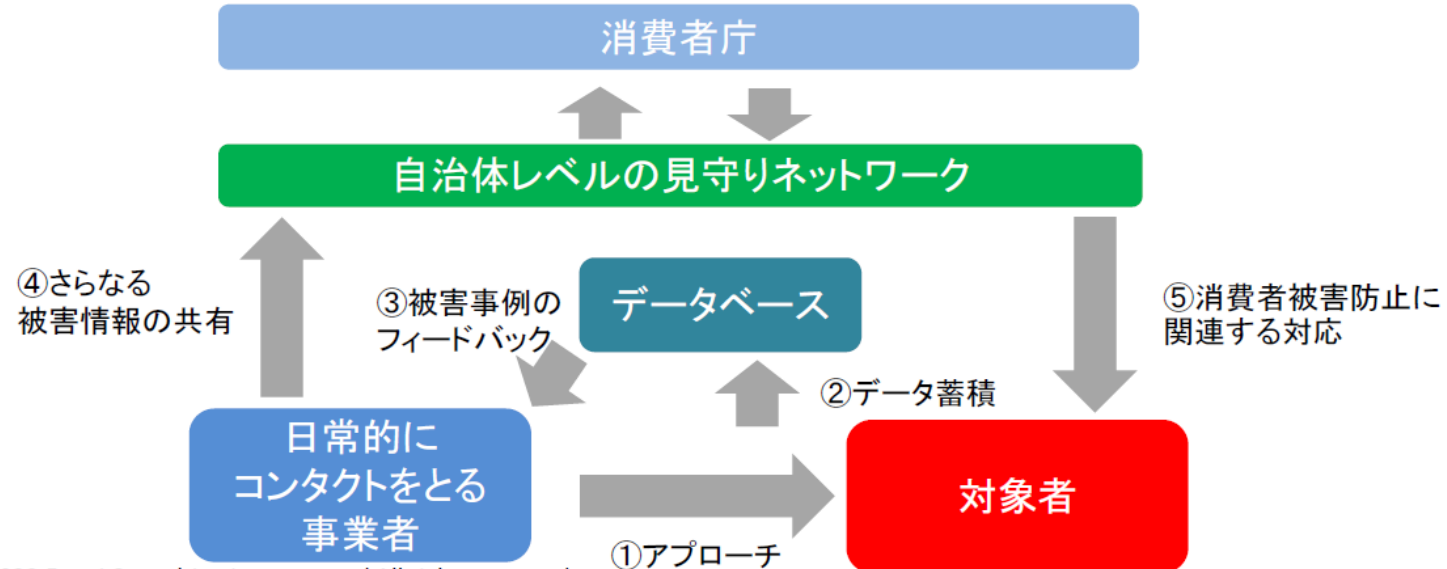
直前防止

消費者問題が発生する
手前で、消費者被害を
防ぐ。

事案発見と被害軽減

消費者被害に陥って
消費者を発見し、重篤な
事態への進行を防ぐ。

■本事業によって構築する枠組み



その他活動

「消費者ホットラインの日」 5月18日、
広報イベント



南海R4.5.19

消費者トラブルに気を付けて

名瀬商店街で啓発活動

奄美市の市民協働推進課などは18日、同市名瀬の中心商店街で悪徳商法や消費者トラブルの未然防止を目的にした啓発活動を行った。啓発チラシや関連グッズが入ったエコバッグ約50セットを通行人に配布し、トラブルに巻き込まれないよう呼び掛けた。

消費者庁が制定した「消費者トラブル防止へ注意を呼び掛けた啓発活動」18日、奄美市名瀬

約の注意点を相談の多い問題商法▽高齢者の消費者トラブルの特徴▽などについて注意を求めた。

同課によると、市に寄せられる消費者相談件数は年間約300件で、今年は3月までに約90件の相談があった。担当職員は「契約時はよく確認した上で、万が一、困った時にはホットラインの188番に電話するなど、相談につなげて」と呼び掛けている。

奄美市、奄美署共同開催

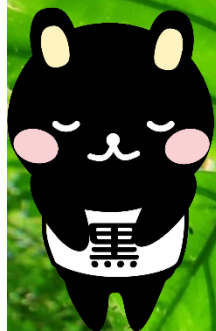


老人会への出前講座

地域コミュニティーFM・イベントでの啓発活動



鹿児島県奄美市
Amami City



ご静聴あいがっさまいょうた



奄美市消費生活センター